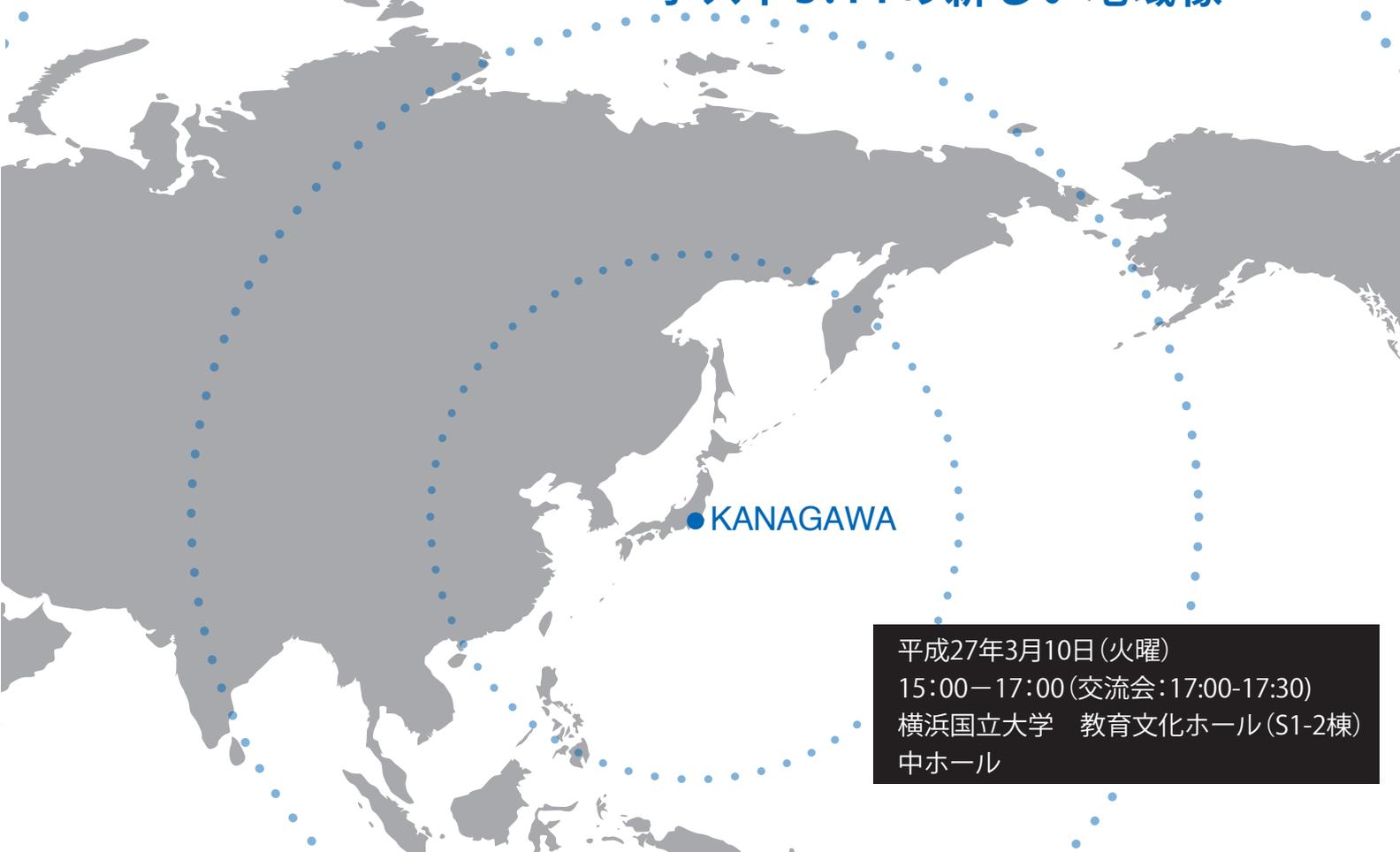


県民総力戦で創る事前復興計画

- ポスト3.11の新しい地域像 -



● KANAGAWA

平成27年3月10日(火曜)

15:00-17:00(交流会:17:00-17:30)

横浜国立大学 教育文化ホール(S1-2棟)
中ホール

2011年における東日本大震災を踏まえて、横浜国立大学では東北地方における復興支援をすると共に、今後予測される大災害に対して、地元の地域が日常的な地域づくりをしながら事前復興もできるように研究や活動を学際的に進めてきました。また、平成25年度から平成26年度においては、神奈川県主催による「大学発・政策提案制度」にて本学から提案した「県民総力戦で創る事前復興計画」の採択を受け、政策提案に向けた研究活動や住民参加による事前復興の素案づくりに取り組んできました。このような経緯を踏まえて、今回のシンポジウムは2年間における成果をもとにした提言を発表する機会として開催を致します。

開会のことば

小池治

<第1部:研究編> (15:05-16:00)

- ・ 大規模災害時における後方支援の有用性に関する検討 —遠野モデルを事例に—
- ・ GISによる要配慮者の人口分布と災害危険性に関する分析
- ・ レジリエンスと社会経済構造 —神奈川県のエconomic・財政・エネルギー—
- ・ 災害時における自立拠点構築のためのエネルギー —面的利用地区の抽出と評価—
- ・ 農山村地域における地産地消型電力供給事業の可能性に関する研究

進行:池島祥文

多田克成

楊 梓

氏川恵次

宮崎加奈子

鳴海大典

<第2部:実践編> (16:05-16:55)

- ・ 逗子市における事前復興計画の提案 志村真紀・平井政俊・石塚直登・児玉千絵・南耀太
- ・ ディスカッション コメンテーター:林秀明(神奈川県 総務局)・高見沢実 / コーディネート:小池治

閉会のことば

春山正敏(神奈川県 安全防災局) / 佐土原聡